

令和7年度ネットリサーチ「人権意識」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 「人権」が大切だと思うかについては、「そう思う」(59.1%)と「少しそう思う」(22.6%)を合わせた【そう思う】が81.7%となっている。一方で、「あまりそう思わない」(1.9%)と「そう思わない」(0.9%)を合わせた【そう思わない】が2.8%となっている。
- 人権を意識した行動については、「いつも意識している」(22.0%)と「ときどき意識している」(36.4%)を合わせた【意識している】が58.4%となっている。一方で、「あまり意識していない」(10.6%)と「いつも意識していない」(5.4%)を合わせた【意識していない】が16.0%となっている。

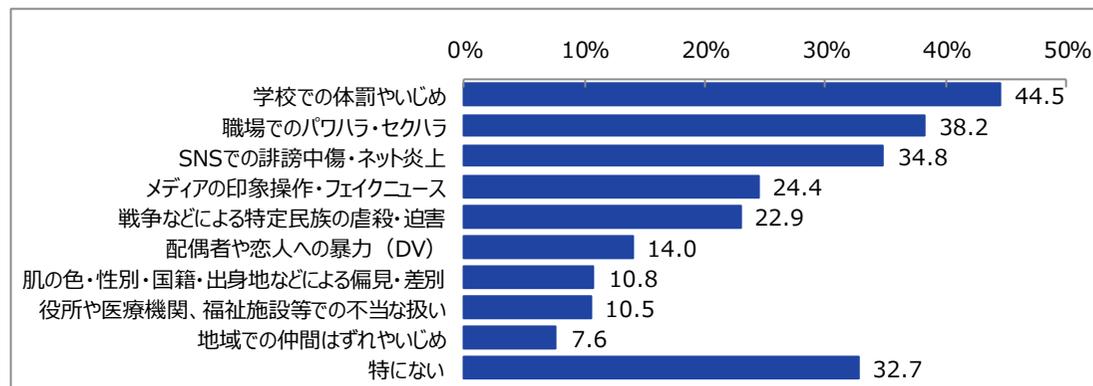
■調査結果の概要

1 最近見聞きした社会問題

☆ 「学校での体罰やいじめ」が44.5%で最も高く、「職場でのパワハラ・セクハラ」が38.2%と続く。

Q1.以下の社会問題について、あなたが最近、話題にしたり、見聞きしたことはなんですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
学校での体罰やいじめ	44.5	445
職場でのパワハラ・セクハラ	38.2	382
SNSでの誹謗中傷・ネット炎上	34.8	348
メディアの印象操作・フェイクニュース	24.4	244
戦争などによる特定民族の虐殺・迫害	22.9	229
配偶者や恋人への暴力(DV)	14.0	140
肌の色・性別・国籍・出身地などによる偏見・差別	10.8	108
役所や医療機関、福祉施設等での不当な扱い	10.5	105
地域での仲間はずれやいじめ	7.6	76
特にない	32.7	327



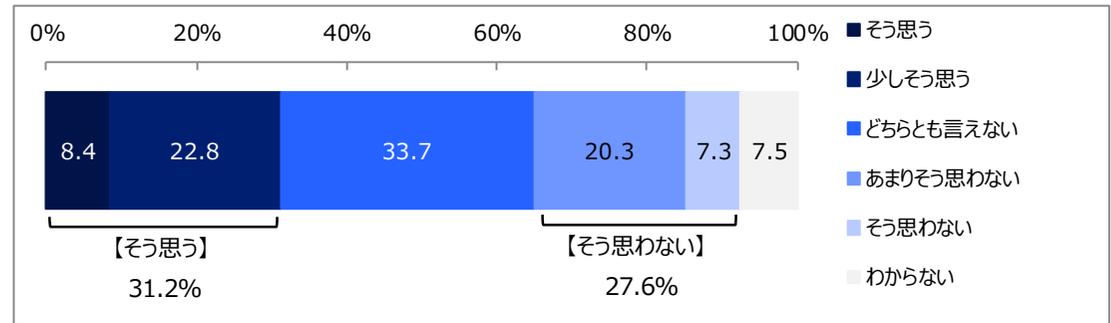
2 「人権」が尊重されている社会について

◇ 「そう思う」(8.4%)と「少しそう思う」(22.8%)を合わせた【そう思う】が31.2%となっている。

◇ 一方で、「あまりそう思わない」(20.3%)と「そう思わない」(7.3%)を合わせた【そう思わない】が27.6%となっている。

Q2.あなたは、今の日本は、「人権※」が尊重されている社会だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	8.4	84
少しそう思う	22.8	228
どちらとも言えない	33.7	337
あまりそう思わない	20.3	203
そう思わない	7.3	73
わからない	7.5	75



※「人権」とは、誰もが生まれながらに持っている権利であり、人間らしく幸せに生きていくための権利のことです。

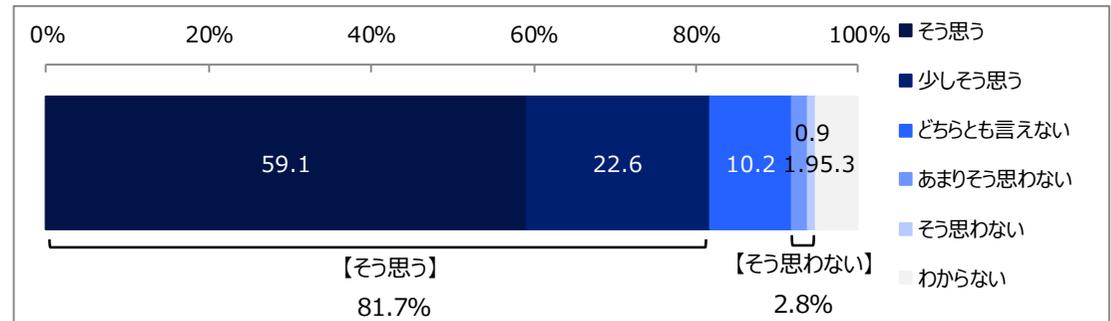
3 「人権」の大切さについて

◇ 「そう思う」(59.1%)と「少しそう思う」(22.6%)を合わせた【そう思う】が81.7%となっている。

◇ 一方で、「あまりそう思わない」(1.9%)と「そう思わない」(0.9%)を合わせた【そう思わない】が2.8%となっている。

Q3.あなたは、「人権」が大切だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	59.1	591
少しそう思う	22.6	226
どちらとも言えない	10.2	102
あまりそう思わない	1.9	19
そう思わない	0.9	9
わからない	5.3	53



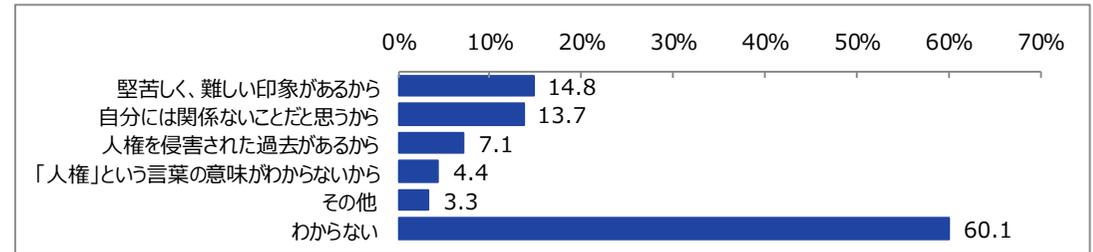
4 人権が大切だと思わない理由

◇ 「堅苦しく、難しい印象があるから」が14.8%、「自分には関係ないことだと思うから」が13.7%などとなっている。

(Q3で「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」と回答された方へ)

Q4.そのように回答された主な理由はなんですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	183
堅苦しく、難しい印象があるから	14.8	27
自分には関係ないことだと思うから	13.7	25
人権を侵害された過去があるから	7.1	13
「人権」という言葉の意味がわからないから	4.4	8
その他	3.3	6
わからない	60.1	110



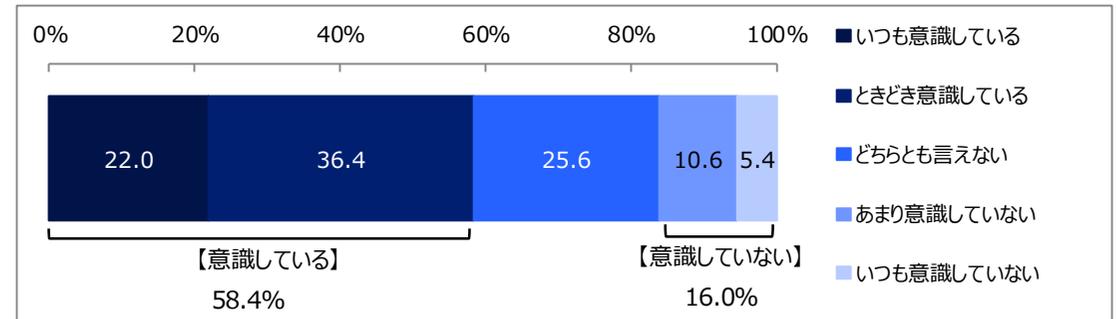
5 人権を意識した行動

◇ 「いつも意識している」(22.0%)と「ときどき意識している」(36.4%)を合わせた【意識している】が58.4%となっている。

◇ 一方で、「あまり意識していない」(10.6%)と「いつも意識していない」(5.4%)を合わせた【意識していない】が16.0%となっている。

Q5.あなたは、日頃他人の立場を尊重するなど「人権」を意識しながら行動していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
いつも意識している	22.0	220
ときどき意識している	36.4	364
どちらとも言えない	25.6	256
あまり意識していない	10.6	106
いつも意識していない	5.4	54



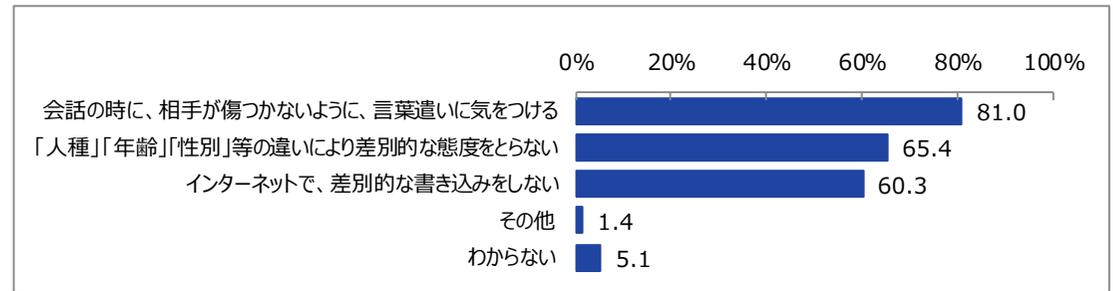
6 「人権」が尊重される社会を実現するための行動

◇ 「会話の時に、相手が傷つかないように、言葉遣いに気をつける」が81.0%で最も高く、「人種」「年齢」「性別」等の違いにより差別的な態度をとらない」が65.4%と続く。

(Q5で「いつも意識している」「ときどき意識している」と回答された方へ)

Q6.あなたは、「人権」が尊重される社会を実現するために、どのような行動を心掛けていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	584
会話の時に、相手が傷つかないように、言葉遣いに気をつける	81.0	473
「人種」「年齢」「性別」等の違いにより差別的な態度をとらない	65.4	382
インターネットで、差別的な書き込みをしない	60.3	352
その他	1.4	8
わからない	5.1	30

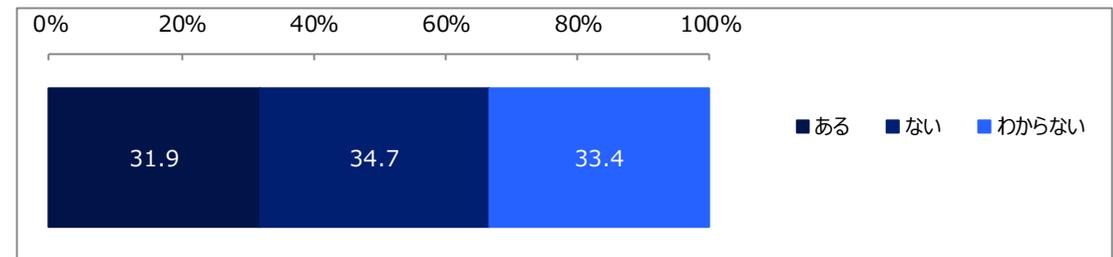


7 「人権」が侵害された経験

◇ 「ある」は31.9%となっている。一方で、「ない」は34.7%となっている。

Q7.あなたは、自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
ある	31.9	319
ない	34.7	347
わからない	33.4	334



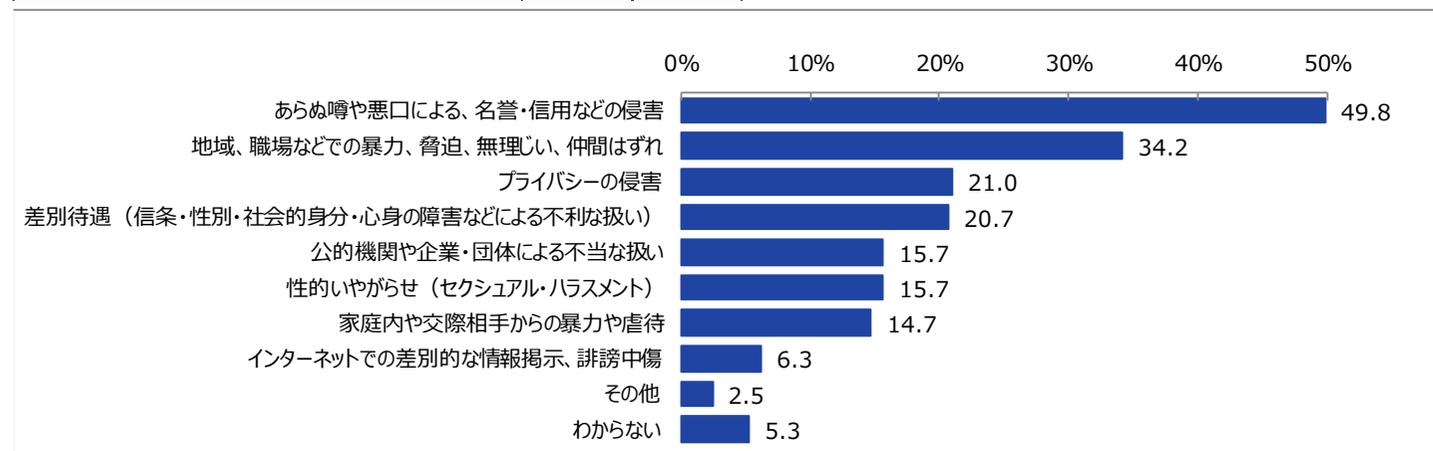
8 「人権」が侵害されたと感じた状況

◇ 「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が49.8%で最も高く、「地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ」が34.2%と続く。

(Q7で「ある」と回答された方へ)

Q8.それはどのような場合ですか。差し支えがなければ、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	319
あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害	49.8	159
地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ	34.2	109
プライバシーの侵害	21.0	67
差別待遇（信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不利な扱い）	20.7	66
公的機関や企業・団体による不当な扱い	15.7	50
性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	15.7	50
家庭内や交際相手からの暴力や虐待	14.7	47
インターネットでの差別的な情報掲示、誹謗中傷	6.3	20
その他	2.5	8
わからない	5.3	17

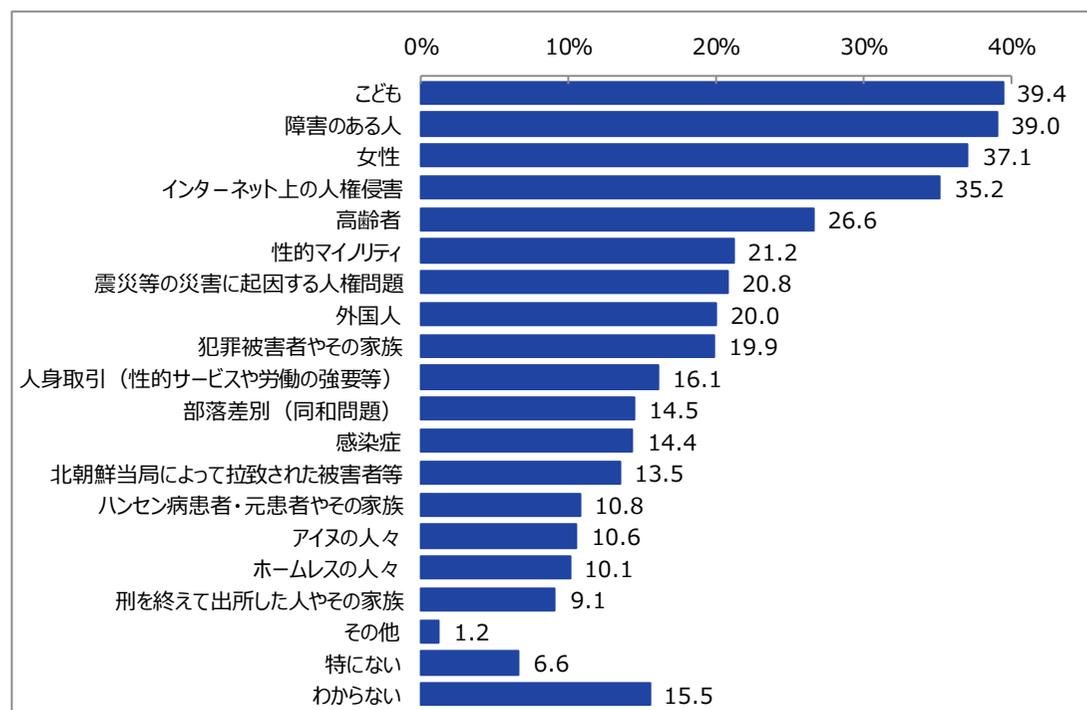


9 力を入れるべき人権の分野

◇ 「子ども」が39.4%で最も高く、「障害のある人」が39.0%と続く。

Q9.人権にはさまざまな分野がありますが、今後、どの分野に力を入れていく必要があると思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
子ども	39.4	394
障害のある人	39.0	390
女性	37.1	371
インターネット上の人権侵害	35.2	352
高齢者	26.6	266
性的マイノリティ	21.2	212
震災等の災害に起因する人権問題	20.8	208
外国人	20.0	200
犯罪被害者やその家族	19.9	199
人身取引（性的サービスや労働の強要等）	16.1	161
部落差別（同和問題）	14.5	145
感染症	14.4	144
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	13.5	135
ハンセン病患者・元患者やその家族	10.8	108
アイヌの人々	10.6	106
ホームレスの人々	10.1	101
刑を終えて出所した人やその家族	9.1	91
その他	1.2	12
特にない	6.6	66
わからない	15.5	155

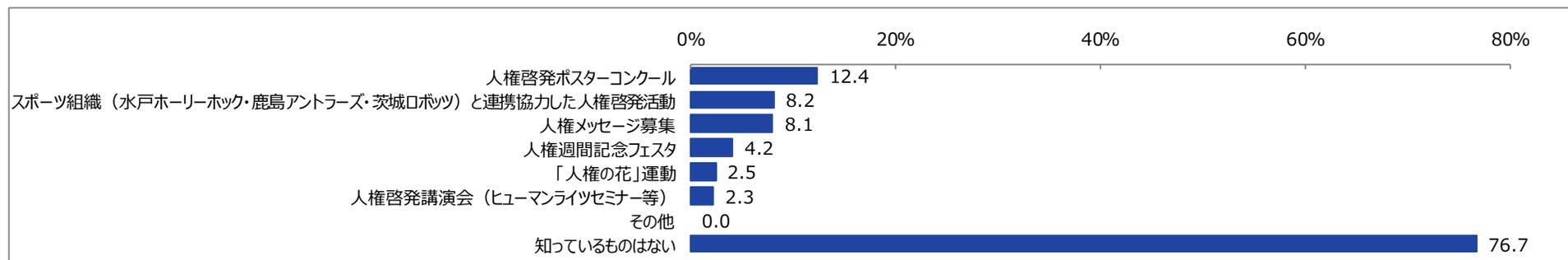


10 県が実施している人権啓発活動の認知度

◇ 「人権啓発ポスターコンクール」が12.4%で最も高く、「スポーツ組織（水戸ホーリーホック・鹿島アントラーズ・茨城ロボッツ）と連携協力した人権啓発活動」が8.2%、「人権メッセージ募集」が8.1%と続く。

Q10.茨城県が実施している人権啓発活動で、知っているものはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
人権啓発ポスターコンクール	12.4	124
スポーツ組織（水戸ホーリーホック・鹿島アントラーズ・茨城ロボッツ）と連携協力した人権啓発活動	8.2	82
人権メッセージ募集	8.1	81
人権週間記念フェスタ	4.2	42
「人権の花」運動	2.5	25
人権啓発講演会（ヒューマンライツセミナー等）	2.3	23
その他	0.0	0
知っているものはない	76.7	767



■調査の目的

定期的な調査の実施により、県民の「人権」に対する意識や人権問題への認識の推移を把握する。また、調査結果を以下の施策に活用する。

- ①前回調査時点からの人権施策の成果を確認する。
- ②人権問題に関する課題・ニーズを明らかにし、より効果的な啓発手段を考察する。
- ③今後の人権教育・啓発活動の推進に役立てるとともに、第二次茨城県総合計画数値目標の一つである「7 1. 人権は大切であると感じている県民の割合」の向上につなげる。

■実施概要

- ・実施期間：令和8年1月16日～1月25日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和7年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		108	248	92	365	187	1,000
性別	男性	56	127	49	189	99	520
	女性	52	121	43	176	88	480
年代別	18～29歳	16	42	16	71	34	179
	30歳代	15	42	16	61	29	163
	40歳代	21	53	19	80	40	213
	50歳代	28	61	21	86	44	240
	60歳代	28	50	20	67	40	205

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、「県央」「鹿行」「県南」「県西」の地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県央」10サンプル、「鹿行」4サンプル、「県南」11サンプル及び「県西」7サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。